



ボランティアに期待すること

出雲市総合ボランティアセンター運営委員会
委員長 岸 幹 人

松江市ボランティア連絡協議会設立30周年を心からお祝い申し上げます。

ボランティア元年と言われた1995年の阪神淡路大震災以前よりボランティア同士のネットワークを築かれ今日まで松江市の地域社会の発展とボランティア普及に尽力されてこられたことに深く敬意を表します。

総務省が五年毎に全国で行う社会生活基本調査の中に「ボランティア活動」を行った人の行動者率という項目があります。島根県は平成18年度、23年度の2回連続で34%強と全国2位であり、市民のボランティアに対する意識の高さを示しています。

しかしながら、内閣府の平成25年度「市民の社会貢献に関する実態調査」によれば国民の58.3%がボランティア活動に対して関心があるという報告もあります。

つまり、まだ25%弱の市民の方が「何かボランティアをしてみたい」との想いを持っているということです。そして、その想いを受け止めることができるのは行政や機関ではなく、他でもないボランティア自身であると確信しています。

一個人のボランティアからグループ、団体、NPO法人、企業の社会貢献などは、それぞれがミッション（使命）を持ち活動していますが、ボランティアの根本である「自ら進んで」互いに手を繋ぎ合っていくことで地域から、日本から、世界へボランティアの輪が広がっていくことでしょ

う。我々もまた皆様と共に、その輪を拡げていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



堀川遊覧船